

団体及び企業の経営者様・教育担当者様・社員の皆様等へ

ポリテクセンターいわき 60th

産業人育成カンファレンス2020 in いわき

～ひとつづくり・ものづくりでイノベーションを起こすために～

開催案内・参加者の募集

参加無料

独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構福島支部
福島職業能力開発促進センターいわき訓練センター
(愛称：ポリテクセンターいわき)

生産性向上人材育成支援センター

〒973-8403 いわき市内郷綴町舟場1-1

Tel. 0246-26-1231

Fax. 0246-26-1237

http://www.3jeed.or.jp/iwaki/poly/

「ポリテクセンターいわき」は、1960年(昭和35年)に地域産業界への人材確保・人材育成に関する事業を開始して60年を迎えました。この間、関係行政機関・産業界をはじめとする関係者の皆様のご支援ご協力を賜りながら、技術革新や雇用動向の変化に応じ国の各地策・地域産業界のニーズに併せた教育訓練コースを設定し、産業人の教育訓練機関の役割を担ってまいりました。今後も産業界のニーズに応える教育訓練の実施を通じて地域の持続的発展に寄与してまいります。

今般、株式会社日本能率協会コンサルティング・三重大学・いわき市・公益社団法人いわき産学官ネットワーク協会のご尽力と、多数の機関の後援を得て、ポリテクセンターいわき60周年の感謝を込めて「産業人育成カンファレンス2020inいわき」として、人材育成と地域活性化分野の第1線で活躍をされている講師を招き、これからのひとつづくり・ものづくりによる地域発展のヒントを得る講演を企画しましたので、是非ともご参加いただきますようお願いいたします。

センター長 藤井 裕久

第1部 令和2年2月5日(水)

参加無料

マツダにおける「モノづくり革新」と未来を拓く「人財育成」 経営危機を脱したMAZDAはなぜ「生き残り」ができてきているのか?

講師 中野 雅文 株式会社日本能率協会コンサルティング(元マツダ(株)常務執行役員)

熾烈な生き残り競争が繰り返される国内自動車メーカーの中でも、マツダの企業活動は異彩を放ち独自のスタイルを確立しています。同社の経営方針や製品開発については広く知られていますが、活動を支える「人づくり」については知る機会がほとんどありませんでした。そこで、マツダ生産方式を推進、展開してきた中野雅文(元常務執行役員)がマツダの「モノづくり」「人財育成」について講演いたします。

- 会場 いわき産業創造館 企画展示ホール(いわき駅前ラトブ6F)
- 定員 150名程度 *申込者多数の場合は先着順とさせていただきます
- 日時 令和2年2月5日(水) 13時20分～16時15分
- 内容 13時20分 開会
13時30分～16時 講演「マツダにおける「モノづくり革新」と未来を拓く「人財育成」
～経営危機を脱したMAZDAはなぜ「生き残り」ができてきているのか?～
講師 中野 雅文
(株)日本能率協会コンサルティング プロフェッショナルアドバイザー
16時～16時15分 (株)日本能率協会コンサルティング・ポリテクセンターいわきの事業紹介・閉会

●中野 雅文氏のプロフィール

1979年マツダ株式会社入社以来、エンジン製造部門のエンジニアとしてスタートし、車両部門、変速機部門の工場運営に従事。1992年のTPM活動の導入以来、知恵を使った改善での16大ロス徹底、排除に努め、防汚工場・本工場の工場長として、エンジン・変速機の2部門でそれぞれワールドクラス賞を受賞する。その過程で、めざす姿の創造的なライジングの実現をリードしてきた。品質担当常務執行役員としてマツダのモノづくり革新、グローバル展開、プラント品質の推進に貢献してきた。2015年より日本能率協会コンサルティングのTPMコンサルタントとして活躍。



第2部 令和2年2月14日(金)

参加無料

地域の小水力発電所の復活による地域活性化

講師 坂内 正明 三重大学大学院 地域イノベーション学研究所 客員教授・名誉教授

地元の自治協議会と連携しながら身近な河川の水資源を活用し地産地消を目的として100年前の小水力発電を復活させるプロジェクトを推進しています。プロジェクトを通して地域の活性化に取り組んでいる事例を紹介し、再生可能エネルギーの一つである小水力発電の先進性や地域発展のヒントについて講演いたします。

- 会場 いわき産業創造館 セミナー室(いわき駅前ラトブ6F)
- 定員 50名程度 *申込者多数の場合は先着順とさせていただきます
- 日時 令和2年2月14日(金) 14時20分～16時15分
- 内容 14時20分 開会
14時30分～16時 講演「地域の小水力発電所の復活による地域活性化」
講師 坂内 正明
(三重大学大学院 地域イノベーション学研究所 客員教授・名誉教授)
16時～16時15分 ポリテクセンターいわきの事業紹介・閉会

●坂内 正明氏のプロフィール

(株)日立製作所で産業界事業所の省エネルギーのシステム計画に従事してきた。1999年に社内ベンチャーとして、エネルギーサービス事業(ESCO)を立ち上げ、国内外の省エネや温暖化ガス削減プロジェクトのまとめを行ってきた。2009年からは三重大学で再生可能エネルギーを活用してCO2を削減する「スマートキャンパス」や「地域を再生する小水力発電プロジェクト」を推進している。同大学客員教授(名誉教授)、博士(工学)、技術士(総合技術監理・機械)、福島県会津出身。



***** 申込は下の「申込票」又はポリテクセンターいわきのホームページ(お知らせ欄)に掲載している「申込票」も併せてご利用ください。*****

ポリテクセンターいわき 60th 「産業人育成カンファレンス 2020 in いわき」申込票 (FAX 0246-26-1237)

「ポリテクセンターいわき」まで FAX で申込ください

■参加日に✓点を記入してください。(1部・2部とも参加する場合は両方に✓点を記入してください。)

第1部【令和2年2月 5日(水)】 マツダにおける「モノづくり革新」と未来を拓く「人財育成」

第2部【平成2年2月14日(金)】 地域の小水力発電所の復活による地域活性化

*開催日の1週間前までに申込ください[早めに申込をお願いします]

■連絡先

●団体・企業(事業所)名 _____

●団体・企業(事業所)住所 〒 _____

●連絡先 ・電 話 _____ ・メールアドレス _____

*申込後の案内などはメールで連絡をさせていただきますのでメールアドレスをご記入ください。

●連絡先氏名 ・所属部署 _____ ・氏 名 _____

■参加者(役職・氏名)

●役職 _____ 氏名 _____

●役職 _____ 氏名 _____

●役職 _____ 氏名 _____

●役職 _____ 氏名 _____

■お聞きになりたいことやご意見ご要望等がございましたらお知らせください。

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構は「独立行政法人の保有する個人情報の保護に関する法律」(平成15年法律第59号)を遵守し、保有個人情報を適切に管理し、個人の権利利益を保護いたします。当機構では、必要な個人情報、利用目的の範囲内で利用させていただきます。

主催 ポリテクセンターいわき(生産性向上人材育成支援センター) 株式会社日本能率協会コンサルティング(第1部)

共催 いわき市 公益社団法人いわき産学官ネットワーク協会

【後援】 福島労働局いわき公共職業安定所 福島県 福島県中小企業団体中央会 公益財団法人福島県産業振興センター いわき商工会議所 いわき地区商工会連協協議会 連合福島いわき地区連合会
(予定) いわき金属工業協同組合 好問工業団地連合会 いわき地区電気工事協同組合 福島県中小企業家同友会いわき地区 いわき経済同友会 いわき信用組合 いわき市環境整備事業協同組合
日刊工業新聞社 福島民報社 福島民友新聞社 いわき民報社 福島テレビ

団体及び企業の経営者様・教育担当者様へ

後期/2019公募型

生産性向上支援訓練

IT活用力セミナー

能力開発セミナー

受講者募集

独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構福島支部
福島職業能力開発促進センターいわき訓練センター
(愛称: ポリテクセンターいわき)

生産性向上人材育成支援センター

〒973-8403 いわき市内郷綴町舟場1-1

Tel. 0246-26-1231

Fax. 0246-26-1237

http://www.3jeed.or.jp/iwaki/poly/

生産性向上支援訓練・IT活用力セミナーの最新情報・申込方法は、ポリテクセンターいわきのホームページ(お知らせ欄)をご覧ください。お電話等でお問合せください。

申込方法 [生産性向上支援訓練・IT活用力セミナー]

- ① ホームページのお知らせ欄から申込書を印刷し、記入の上、FAX(ポリテクセンター福島あて)でお申し込みください。
- ② 実施日の1週間前が申込締切日です。ご希望の際は早めに手続きをお願いします。申込者多数の場合は先着順となります。

受講対象者 [生産性向上支援訓練・IT活用力セミナー]

- ① 団体・企業(事業主)からの指示により知識を習得する社員の方です。
- ② 個人の申込・受講はできません。
- ③ 訓練を実施する機関の関係会社(親会社、子会社、関連会社等)の方は受講できません。

12月13日(金)開催 コースNo K19-07-12-A04-012 [IT活用力セミナー]

RPAによる業務の自動化

会場: ポリテクセンターいわき 申込期限: 12月6日(金)
受講料: 3,000円(税抜)

RPA(Robotic Process Automation)は、バックオフィスの業務を代行するソフトウェアで、PCのアプリケーションの操作やシステム画面を識別して、人間と同じように作業ができるロボットです。RPAの仕組み、業務の見える化・事務処理の自動化などの導入方法や導入手順、導入効果などについて理解を深めていただきます。

【習得目標】RPAの概要を理解し、RPAを活用することで業務を自動化し、業務効率を向上できることを理解する。

- ◆日時 令和元年12月13日(金) 9時~16時(6時間)
- ◆定員 15名 *応募者が10名以下のときは開催を中止する場合があります。 *応募者多数の場合は先着順とします。
- ◆会場 ポリテクセンターいわき 本館多目的ホール
- ◆講師 学校法人産業能率大学 総合研究所 安藤 準(あんどう ひとし)
- ◆内容 1 RPAの概要

- ① RPAとは
RPAとは何か?RPAがどのようなものなのかを開設する。また、現状でRPAが求められているのか、その背景を解説する。
- ② RPAを活用した業務改善
一般的な業務改善の進め方を開設し、RPAは定型PC作業省力化のための手段であることを確認する。そして、シナリオ(プログラム)作成の方法や、効果見積りのための業務分解の手法について解説する。
- ③ 自社での導入の検討
上記の業務分解の手法を適用して、自社・自職場の実際の業務自動化を検討する演習を行う。

- 2 RPAの導入事例
- ① PC業務自動化に向けている業務とRPAの活用事例
RPAが効果を発揮する業務はどのようなものか、パターンを例示して解説する。また、RPAの活用事例について紹介する。
- ② 導入までの流れと留意点
RPAを導入するにあたって、RPAプロダクトの種類やコストについて解説する。それらを踏まえた上で、導入のための留意点を解説する。

1月17日(金)開催 コースNo K19-07-12-C04-024 [IT活用力セミナー]

インシデントと情報セキュリティ

会場: ポリテクセンターいわき 申込期限: 1月10日(金)
受講料: 2,000円(税抜)

ハッカーなど悪意を持った人によるサイバー攻撃とネット被害のニュースは常態化し、企業・警察・防衛関係でもセキュリティ対策を急いでいる。本内容は、インシデント(重大事故につながる恐れがあった事例など)とセキュリティ対策について理解を深めていただきます。

【習得目標】実際のインシデント事例を参考に情報セキュリティの考え方を理解する。

- ◆日時 令和2年1月17日(金) 9時~16時(6時間)
- ◆定員 15名 *応募者が10名以下のときは開催を中止する場合があります。 *応募者多数の場合は先着順とします。
- ◆会場 ポリテクセンターいわき 本館多目的ホール
- ◆講師 エヌケーテック株式会社 安齋 健一
- ◆内容 1 脅威とインシデント[事例紹介を含む]

- ① 身近な脅威
脅威の事例紹介/攻撃者の狙いから概観の攻撃手法を知る/典型的なウイルス・マルウェアの脅威以外にも不正なプログラムがあることを知る
- ② 標的型攻撃
標的型攻撃の事例/企業の情報漏洩リスクによる損害や賠償のリスクを、企業に求められるITガバナンスの観点から実情を探る。
- ③ 不正アクセス
不正アクセスの事例紹介/相次ぐフィッシング詐欺被害の要因は何か、また加害者になりうる踏み台について知る

- 2 利用者のセキュリティ対策
- ① セキュリティ対策の基本
各ソフトウェアのバージョンを確認し、常に最新の状態に保つセキュリティパッチの適用の仕方、さらに最新の状態にしていなくても起こりうる問題について考える。
- ② 予防する[演習あり]
メール受信時を想定して、送信者やメール内のリンク、内容、添付ファイルなどの情報から、迷惑メールに仕分けする/スモアアプリのインストールについても考える
- ③ パスワード管理[演習あり]
攻撃者が認めるパスワードの作り方を考え、より強力なパスワードを作ってもらう/ID/パスワードの管理方法を説明する
- ④ データの暗号化
データや通信の暗号化の手法・種類について知り、参考までに信頼性できるホームページの見分け方について説明する。

1月31日(金)開催 コースNo 19-07-12-061-013 [生産性向上支援訓練]

職場のリーダーに求められる統率力の向上

会場: ポリテクセンターいわき 申込期限: 1月24日(金)
受講料: 3,000円(税抜)

【コースのねらい】職場の生産性を向上するために必要となる各種経営組織や形態に対応できる管理機能や職位に応じた組織を統率するための能力を理解し、職場のチームワークを牽引できる能力を習得する。

- 人材育成上の課題・目標
- ・「リーダーの能力」がどういものかわからない
- ・何を管理したら、組織は強くなるのだろうか
- ・部下の強みをもっと引き出したい
- ・管理者としての役割を正しく理解したい
- ・強い組織の特徴は何か

- 課題解決・目標達成を自指して
- ・統率力を構成する要因を理解する
- ・統率力を向上するための要因を理解する
- ・管理者の役割と果たすべき責任を明確化する
- ・リーダーシップとフォローアップの違いを理解する
- ・的確な情報伝達の重要性を理解する

- ◆日時 令和2年1月31日(金) 9時~16時(6時間)
- ◆定員 20名 *応募者が10名以下のときは開催を中止する場合があります。 *応募者多数の場合は先着順とします。
- ◆会場 ポリテクセンターいわき 本館多目的ホール
- ◆講師 学校法人産業能率大学 内藤 英俊
- ◆内容 1 組織の管理

- ① 多様化する職場の現状
多様化する職場の現状を理解し、今日のチームに求められる成果とチームワークに必要な要素を確認する。
- ② 職場のマネジメントの基本[演習あり]
管理:監督職の役割を、わかりやすく4つの役割(目標達成に向けた管理:職場の問題解決:部下育成:職場の活性化)に整理して、マネジメントの全体像を確認する。

- 2 職場の生産性と統率力
- ① リーダーシップ理論
様々なリーダーシップの考え方に触れながら、ポジションパワーに頼れない時代のリーダーシップ発揮の要件(信頼に基づくリーダーシップ)について理解を深める。
- ② 状況対応型リーダーシップ[演習あり]
メンバーの発達レベルに応じてリーダーシップスタイルを変更していくことの重要性と、具体的な行動について理解を深める。

- 3 職場の情報伝達
- ① 多様なメンバーとのコミュニケーション[演習あり]
チーム内の多様なメンバーとの情報伝達の留意点と、コミュニケーションスキルの基本(例:理と情報の使い分け)を学ぶ。
- ② メンバーの指導育成[演習あり]
メンバーが育つためのコミュニケーション手法(コーチングの基本)を理解する。

PLCプログラミング技術

[2/5(水)・2/6(木)]

シーケンス(PLC)制御設計の生産性の向上をめざして、効率化、安全性の向上に向けた自動制御システム制作実習を通して、制御プログラム設計の実務能力を習得します。

- ◆受講料: 9,000円 ◆定員: 10名
- ◆対象者: 電気機器設備工事に従事する方
- ◆使用機器: PLC(三菱FXシリーズ)、パソコン、サポートソフト、負荷装置など

TIG溶接実践技術(ステンレス鋼板材編)

[2/8(土)・2/9(日)]

TIG溶接作業の技能高度化をめざして、現在の習熟度を確認し、その結果に基づいてステンレス鋼のTIG溶接作業の各種継手の溶接を行い、適正なTIG溶接施工に関する技能と実際に起こりうる品質上の問題点の把握及び解決手法を習得します。

- ◆受講料: 19,000円 ◆定員: 5名
- ◆対象者: TIG溶接作業に従事する方
- ◆使用機器: TIG溶接装置、安全保護具、器具一式

炭酸ガス半自動アーク溶接技能クリニック

[2/8(土)・2/9(日)]

製品の品質向上を図り、鋼構造物作成工程のマグ溶接作業における技能高度化をめざして、各溶接実習課題を通して鋼構造物製作に関わる溶接技術・溶接施工の技能・知識を習得します。

- ◆受講料: 19,000円 ◆定員: 5名
- ◆対象者: アーク溶接作業に従事する方
- ◆使用機器: マグ溶接装置、安全保護具、器具一式

能力開発セミナー(12月~3月)受講者募集
この不明な場合はお気軽に連絡をお願いします。
申込方法は、ポリテクセンターいわきのホームページ(お知らせ欄)をご覧ください。
申し込みは、在職者の方へ(欄)の申込用紙で申込ください。